

優秀賞

沖縄県立八重山特別支援学校

「第35回 運動会」

学校紹介

本校は多くの自然に囲まれた、日本最南端・最西端の特別支援学校である。小学部から高等部まで在籍しており、行事には全校生徒一丸となって取り組む姿が見られる。また、高等部においては石垣島まつりの地域のイベントで販売をするなど、地域の方々との交流も行っている。さらに、全国障がい者スポーツ大会のサッカーで沖縄県代表として選出された生徒もいる。

取組概要等

【取組概要】

「スマイルジャンプ！ 燃え上がれ 盛り上がれ 炎の八特オリンピック・パラリンピック」のテーマの下、高等部団体演技で、入退場の全員ダンスや各グループに分かれてオリンピック・パラリンピックの要素を取り入れた競技を実演した。

【取組のねらい】

協力して楽しく取り組めることを目的とし、その中でオリンピック・パラリンピックを理解してもらう機会とした。

【創意工夫した点】

パワーポイントを活用し、取り組む内容の事前学習を行った。オリンピック・パラリンピックの意義や、採用されている競技種目を動画で視聴して理解を深めた。また、音楽科と連携し、段階を踏まえながら生徒達の好きな曲を授業で取り入れることで、ダンスに取り組みやすいように工夫した。競技は空手（形）の披露と各競技（カヌー、自転車競技、バスケットボール、サッカー）の動きをしながら競走する構成にし、各々が得意又は好きな競技に割り振った。

【取組結果や効果】

練習を積み重ねることで、自信をつけ、大成功に終わることができた。今回の取組を通して、競技種目をより深く知り、周り協力してがんばることの大切さを体験できたように感じる。

【来年度以降の展開予定など】

来年度も体育等でパラリンピック競技種目を取り入れるようにしていきたい。

プログラムの様子



伝統の空手の形を取り入れ、披露しました。



パスやシュートなど基本的な動作を取り入れました。



ドリブルやシュートなどを演技として取り入れました。



パドルの動かし方を工夫してカヌーの様子を表現しました。

東京2020アスリート委員会からのコメント

カヌー・自転車競技など動きに特徴のある要素を取り入れ、その競技特性を活かしつつも生徒に合わせたプログラムを行ったほか、事前学習を実施したことも素晴らしい取組でした。日本最南端・最西端の特別支援学校でオリンピック・パラリンピックの要素を取り入れた運動会が実施されたことが良かったです。

受賞のコメント

生徒の実態に合わせて、他教科とも連携しながら生徒たちが無理なく楽しく取り組むことができました。また、今回の受賞は生徒達にとって自信につながると思います。誠にありがとうございました。